

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社海帆 上場取引所 東
 コード番号 3133 URL http://www.kaihan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久田 敏貴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小島 聡 TEL 052-586-2666
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,067	—	△58	—	△58	—	△55	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△15.53	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2019年3月期第1四半期は連結業績を開示していましたが、当第1四半期より単体での業績を開示していません。そのため、2019年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,929	125	6.5
2019年3月期	2,150	180	8.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 124百万円 2019年3月期 180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.00	—	—	2.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,389	△4.0	△14	—	△15	—	△10	—	△2.88
通期	4,762	△2.0	10	—	8	—	5	—	1.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,590,400株	2019年3月期	3,590,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	一株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,590,400株	2019年3月期1Q	3,590,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 経営上の重要な契約	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(企業結合等関係)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、貿易摩擦の激化による輸出量の減少や人件費が高騰したことなどにより、やや低調に推移しました。また、本年10月から消費税率が引き上げられることによる消費減退が懸念される等、景気に対する不透明感が強まっております。

当社が属する外食業界におきましては、消費者の多様な価値観の高まりや根強い節約志向への対応が求められ、かつ原材料価格の高騰や人手不足も深刻化する厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社におきましては、業態変更として、4月に「大須二丁目酒場 太田川駅前店」(愛知県東海市)を「熱々屋 太田川駅前店」、「鳥はち 豊田西町店」(愛知県豊田市)を「豊田タンメン 豊田西町店」にそれぞれリニューアルオープンいたしました。この結果、2019年6月末現在の店舗数は91店舗(前年同四半期末は98店舗)となっております。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,067百万円、売上原価291百万円、販売費及び一般管理費834百万円、営業損失58百万円、経常損失58百万円、四半期純損失55百万円となりました。第1四半期累計期間においては、厳しい外部環境もあり、既存店売上高が想定を下回っていること等によって、営業損失及び経常損失を計上しております。店舗の見直し等による業績への影響を考慮しながら、今後におきましても、「変革」というスローガンのもと、利益重視の経営に全力で取り組んでまいり所存であります。

なお、当社は本年3月末に子会社が事業を休止したことに伴い、2020年3月期第1四半期累計期間より単体決算に移行したことから、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(注) 当社の報告セグメントは飲食事業のみでありますので、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,929百万円(前事業年度末比221百万円減少)、負債は1,804百万円(同165百万円減少)、純資産は125百万円(同55百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ253百万円減少し、946百万円となりました。これは、現金及び預金が231百万円減少したこと等によりです。

固定資産につきましては、前事業年度末に比べ31百万円増加し、983百万円となりました。これは、のれんが40百万円増加したこと等によりです。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ44百万円減少し、1,096百万円となりました。これは、未払金が21百万円減少したこと等によりです。

固定負債につきましては、前事業年度末に比べ120百万円減少し、707百万円となりました。これは、長期借入金金が112百万円減少したこと等によりです。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ55百万円減少し、125百万円となりました。これは、利益剰余金が55百万円減少したこと等によりです。

この結果、自己資本比率は6.5%(前事業年度末は8.4%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

(4) 経営上の重要な契約

当社は、2019年5月30日開催の取締役会において、株式会社弥七より立喰い焼肉「治郎丸」の事業を譲り受けることに関し、同社と事業譲受契約を締結することを決議し、2019年5月31日付で事業を譲り受けました。

詳細は、「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,002	776,647
売掛金	33,757	27,318
商品及び製品	46,309	43,262
原材料及び貯蔵品	3,393	3,192
前払費用	52,113	53,118
その他	55,970	42,965
貸倒引当金	△261	△339
流動資産合計	1,199,286	946,165
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	452,569	460,133
車両運搬具（純額）	25,735	19,205
工具、器具及び備品（純額）	42,526	44,911
リース資産（純額）	85,925	73,689
土地	29,737	29,737
その他（純額）	13,010	12,582
有形固定資産合計	649,503	640,260
無形固定資産		
のれん	—	40,924
商標権	2,408	2,340
ソフトウェア	20	297
その他	1,109	1,109
無形固定資産合計	3,538	44,671
投資その他の資産		
関係会社株式	7,789	7,789
長期前払費用	3,568	3,448
敷金及び保証金	274,413	275,539
その他	12,345	11,423
貸倒引当金	△62	△57
投資その他の資産合計	298,055	298,143
固定資産合計	951,097	983,075
資産合計	2,150,383	1,929,240
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,944	221,122
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	450,048	450,048
リース債務	80,293	72,043
未払金	265,344	243,518
未払法人税等	14,117	9,600
未払消費税等	15,075	27,914
前受金	25,341	11,659
株主優待引当金	16,004	14,333
その他	30,762	32,078
流動負債合計	1,140,932	1,096,319
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	734,004	621,492
リース債務	52,113	40,471
資産除去債務	28,998	29,196
その他	4,517	7,686
固定負債合計	828,632	707,845
負債合計	1,969,565	1,804,164

純資産の部		
株主資本		
資本金	194,072	194,072
資本剰余金	180,760	180,760
利益剰余金	△194,286	△250,028
株主資本合計	180,545	124,803
新株予約権	273	273
純資産合計	180,818	125,076
負債純資産合計	2,150,383	1,929,240

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,067,894
売上原価	291,631
売上総利益	776,263
販売費及び一般管理費	834,785
営業損失(△)	△58,522
営業外収益	
受取利息	64
不動産賃貸料	1,285
受取手数料	238
その他	1,430
営業外収益合計	3,019
営業外費用	
支払利息	1,775
不動産賃貸費用	833
その他	604
営業外費用合計	3,213
経常損失(△)	△58,716
特別利益	
固定資産売却益	9,214
受取保険金	2,312
特別利益合計	11,526
特別損失	
固定資産除却損	1,151
特別損失合計	1,151
税引前四半期純損失(△)	△48,340
法人税等	7,401
四半期純損失(△)	△55,742

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは飲食事業のみであり、その他の重要性が乏しい事業につきましては記載を省略しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社弥七

事業の内容 立喰い焼肉「治郎丸」

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、「幸せな食文化の創造」という考えのもと、飲食を通して地域の活性化、新たな食文化の醸成を目的とし、社会に貢献し、人の幸せにつながる価値のある企業を目指しております。これまでは、新規業態開発と新規出店により成長を図ってきましたが、「幸せな食文化の創造」をより実現していくべく、M&Aによる新たなブランドの獲得を成長戦略の一つとして考えております。

本事業は、当社の既存業態にない飲食カテゴリーであり、且つ知名度が高く、「立喰い焼肉」という独創的な業態で、一等地の通常の飲食店が出店しにくい小さな坪数で展開しております。最も業績が良い店舗は坪売200百万円/月を誇り、業界紙等でもたびたび取り上げられております。本事業を多様化する食事需要に対応する店舗展開の礎とし、お客様のニーズに呼応していくことが、当社の企業価値を向上させていくために有益であると考えております。

当社にて譲り受け後は、対象店舗の従業員様がより輝けるように様々な環境の改善に取り組むと共に、より多くのお客様に喜んでいただくために、主要エリアへのさらなる新規出店やFC展開に取り組み、成長発展を目指していく所存です。

(3) 企業結合日

2019年5月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(5) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として事業を取得したことによるものであります。

2. 四半期累計期間に係る四半期損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2019年5月31日から2019年6月30日まで

3. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	60,000千円
取得価格		60,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

41,617千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力に関連して発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。